ESDに関するユネスコ世界会議の成果文書について

「ESDに関するユネスコ世界会議」では、2013年11月の第37回ユネスコ総会で採決された「ESDに関するグローバル・アクション・プログラム」(GAP)※の具体的な実施に向けて、各ステークホルダーがESDを更に強化し、そのための行動を起こすことを宣言する「あいち・なごや宣言」を採択する予定。宣言は、ESDの重要性を確認し、これまでのDESDの成果を総括するとともに、GAPの実施に向けて全てのステークホルダー、加盟国、ユネスコへ呼び掛けを行う内容となる予定。

(※) ESDに関するグローバル・アクション・プログラム

「国連ESDの10年」の後継プログラム。5つの優先行動分野（(1)政策的支援、(2)機関包括的取組、(3)教育者の育成、(4)若者の参加の支援、(5)地域コミュニティの参加の促進）を定め、ステークホルダーからコミットメントという形で2015年以降の具体的な計画を収集し、2015年以降のESDの取組を推進する。